

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
国 語	古 典 探 究	2	2	理系GA	5～8組

教科書	「精選 古典探究 古文編」(三省堂) 「精選 古典探究 漢文編」(三省堂)	副教材	「読解を大切にする 体系古典文法」(数研出版) 「基礎から解釈へ 漢文必携」(桐原書店) 「読んで見て聞いて覚える重要古文単語315」(桐原書店) 「新訂総合国語便覧」(第一学習社)
-----	--	-----	--

科目の目標	1. 古典文学に幅広く触れながら、日本文化の特質と多様な価値観を知ることで、より多角的な思考力を身に付ける。 2. 古典文学を読み味わいながら、内容・表現から思想・感情を的確に捉える力を養うことで、より分析的な読解力を身に付ける。 3. 古典文学を通して、語法や文法などの日本語に関する知識を深めることで、より豊かな言語能力と表現力を身に付ける。
-------	---

科目の概要	1. 古典文学に幅広く触れながら、ものの見方・感じ方・考え方など、日本文化の特質と多様な価値観について学ぶ。 2. 古典文学を読み味わいながら、情報を整理して要旨を理解するといった、内容・表現から思想・感情を的確に捉えることを学ぶ。 3. 古典文学を通して、聞く・話す・読む・書くといった活動から、語法や文法などの日本語に関する知識について学ぶ。
-------	---

観点別評価			
3 観点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10の力	①「知識・技能」 ⑥「受信・発信力」 ⑨「自己管理能力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	②「課題対応力」 ⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	○使用する言葉を増し、語感を磨くことができたか。 ○言葉には文化の創造、継承、発展を支える働きがあることを理解できたか。 ○文章おける特徴的な表現技法と効果について理解できたか。 ○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できたか。	○文学作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができたか。 ○文学作品の成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができたか。 ○体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の構成、展開、文体、描写等を工夫して表現することができたか。	○文学作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、文学作品について自分の考えを持つことができたか。 ○題材や素材を吟味しながら、文章の構成、展開、文体等を工夫して表現することができたか。 ○読書の意義と効用について理解できたか。
評 価 の 方 法	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○定期試験 ○授業内活動 ○課題への取り組み・提出状況 以上をふまえて、学年末の総合成績をもって評価する。	○授業内・外での学習活動等 ○課題への取り組み・提出状況 以上をもとに、各学期末の平常点で評価する。
定期試験、および授業内外での課題等を総合的に判断して評価する。			

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	【古文】 ・説話 - 『宇治拾遺物語』「小野篁、広才のこと」 【漢文】 ・故事成語 - 『春秋左氏伝』「病入膏肓」 [定期的に確認テスト・小テストを実施] 【1学期 中間試験】 5月20日～23日	【古文】 『宇治拾遺物語』を通して、説話ならではの面白さを捉え、話の内容について読み取る。 用言について復習し、古文単語を習得する。 【漢文】 比較的短い文章を通して、漢文に親しみながら、内容を的確に把握する力を身に付ける。 置字・再読文字を習得する。
	【古文】 ・随筆 - 『枕草子』「二月つごもりごろに」 【漢文】 ・思想 - 孟子「不忍人之心」 ・思想 - 荀子「人之性悪」 [定期的に確認テスト・小テストを実施] 【1学期 期末試験】 7月1日～5日	【古文】 『枕草子』を通して、随筆ならではの表現を捉え、作者の感性、当時の宮廷文化について読み取る。 用言や付属語などの文法事項を総合的に理解する。 敬語に注意して文章中の人物関係を把握する。 【漢文】 思想家の文章を通して、中国思想の多様性と独創性、またそれらが発言した必然性を理解する。 否定形・疑問形を習得する。
2 学 期	【古文】 ・和歌・連歌・俳諧 - 「和歌十六首」 【漢文】 ・史伝 - 『史記』「鴻門之会」 [定期的に確認テスト・小テストを実施] 【2学期 中間試験】 10月15日～18日	【古文】 古典文学の根底にある和歌の歴史、表現の特徴、表現の変遷を、歌のリズムを味わいつつ理解する。 【漢文】 史話を通して、登場人物の人間関係を整理しながら、登場人物の心情をつかむ。 否定形・疑問形を復習する。 使役形・受身形を習得する。
	【古文】 ・評論 - 『風姿花伝』「へたは上手の手本」 【漢文】 ・史伝 - 『史記』「莊子樊喉嚢」 [定期的に確認テスト・小テストを実施] 【2学期 期末試験】 12月2日～6日	【古文】 『風姿花伝』を通して、能の芸論が、時代を超えて現代にも通じる教育論・人生論になっていることを学ぶ。 【漢文】 史話を通して、登場人物の人間関係を整理しながら、登場人物の心情をつかみ、ドラマチックな展を味わう。 願望形・仮定形を習得する。
3 学 期	【古文】 ・日記 - 『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」 【漢文】 ・小話 - 『世説新語』「三横」 [定期的に確認テスト・小テストを実施] 【3学期 学年末試験】 3月4日～8日	【古文】 『蜻蛉日記』を通して、女流日記文学の固有性を捉え、登場人物の心情について読み取る。 また和歌のやり取りに関する知識を習得する。 【漢文】 小話を通して、それまでの既習事項を踏まえ、本文を正確に読み取り、全体の内容を理解する。 既習の句形を復習する。